

# 令和3年度集団回収における「その他の古紙」回収促進に向けた回収体験紙袋モニター事業実施報告書（アンケート集計含む）

R4.3

## <事業概要>

集団回収登録団体に対し、モニターとして「その他の古紙」回収体験袋を構成世帯へ配布していただける団体を募集し、当該古紙の回収促進を図るとともに、効果・検証を行い次年度以降の施策へ活用する。

## <募集方法及びモニターへの応募・実施状況>

### 1. 既登録団体

上半期の交付申請書類送付時（R3.7）に、募集チラシを同封

…22 団体が応募し、うち 20 団体（計 3,583 世帯）がモニターに参加（2 団体は辞退）

### 2. 新規登録団体

各区における新規登録時に募集チラシにより案内

…応募なし

## <モニター期間>

令和3年9月以降随時開始～令和4年1月

## <アンケート回答率>

100%（20 団体中全団体が回答）

## <モニター団体の属性等>

No.	区域	回答数	割合
1	堺区	6	30.0%
2	中区	3	15.0%
3	東区	2	10.0%
4	西区	4	20.0%
5	南区	3	15.0%
6	北区	1	5.0%
7	美原区	1	5.0%

No.	世帯数	回答数
1	～50	5
2	51～100	5
3	101～200	6
4	201～	4

No.	団体の種別	回答数	割合
1	自治会	11	55.0%
2	子ども会	5	25.0%
3	管理組合	4	20.0%

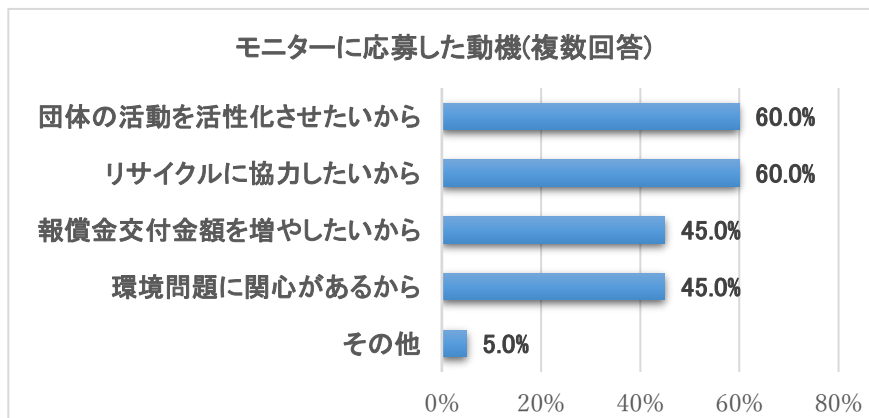
No.	紙袋の配布時期	回答数	割合
1	9月中旬	7	35.0%
2	9月下旬	6	30.0%
3	10月上旬	5	25.0%
4	10月中旬	1	5.0%
5	10月下旬以降	1	5.0%

## <アンケート集計結果>

### 1. モニターに応募した

#### 動機について

6割の団体が、「リサイクルに協力したいから」「団体の活動を活性化させたいから」と答え、「報償金交付金額を増やしたいから」「環境問題に関心があるから」の回答は45%となっています。

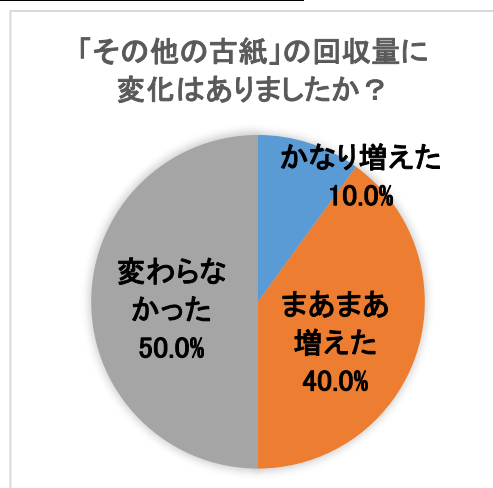


### 2. モニターの取組で「その他の古紙」の回収量に変化はありましたか？

アンケートの回答では、「かなり」「まあまあ」増えたと答えた団体と、「変わらなかった」と答えた団体が同数となりました。

なお、報償金交付申請データからは、「雑誌・その他の古紙」の前期(R3上半期)と比較すると、回収量が増えた団体は5団体にとどまり、回収量合計も減少していますが、前々期(R2下半期)との比較では12団体が増加し、回収量合計も増加しました。

※上半期は引越し・進学等により、下半期に比べて雑誌(本・教科書等)の排出量が多い傾向にあります。

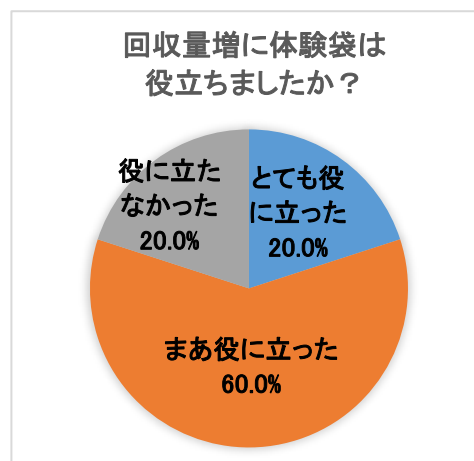


#### R3 下半期報償金交付申請における「雑誌・その他の古紙」回収量の比較

	R3「上半期」比較	割合	R2「下半期」比較	割合
↑「増」団体数	5	25%	12	60%
↓「減」団体数	15	75%	8	40%
回収量増減(20団体計)	-4,520kg	-14.2%	1,170kg	+4.5%

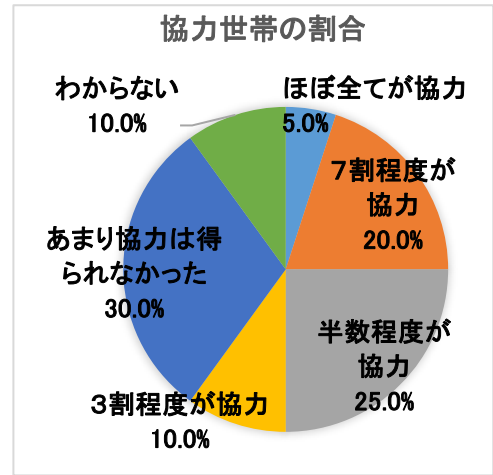
### 3. Q2の設問で、1又は2(回収量が増えた)と答えた方にお聞きします。回収量の増加に、今回配布した「回収体験袋」は、役に立ちましたか？

「とても」「まあ」役に立ったと答えた団体が計8割にのぼり、役に立たなかったと答えた団体は2割となりました。

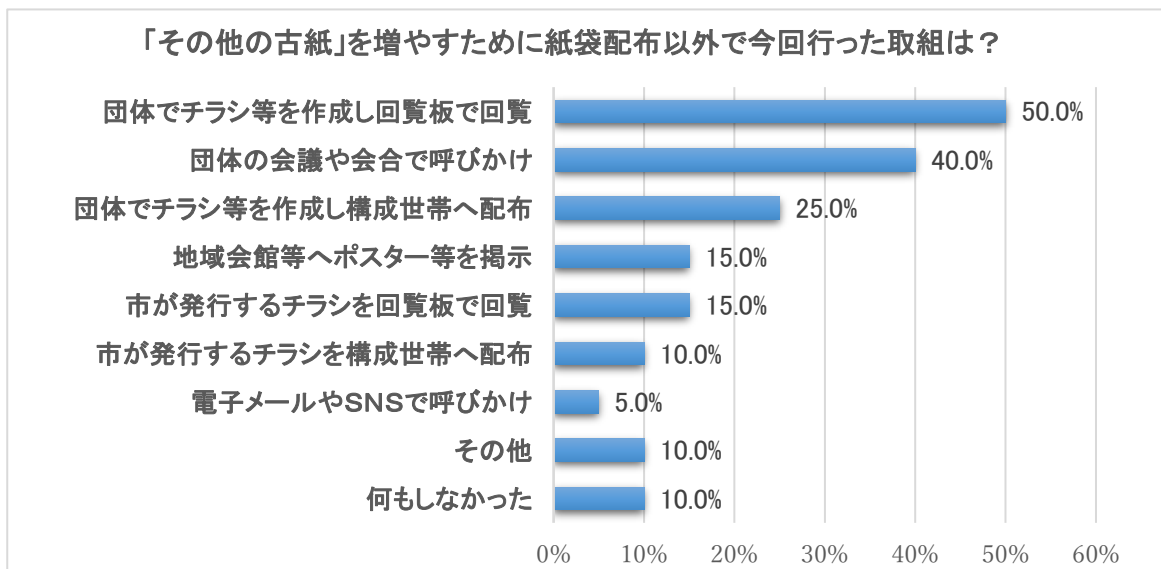


4. 貴団体の構成世帯のうち、どの程度の世帯が「その他の古紙」回収に協力してくれましたか？

協力世帯が「ほぼ全て」「7割程度」「半数程度」と答えた団体の合計が5割にのぼった一方、「あまり協力は得られなかった」と答えた団体は3割となりました。

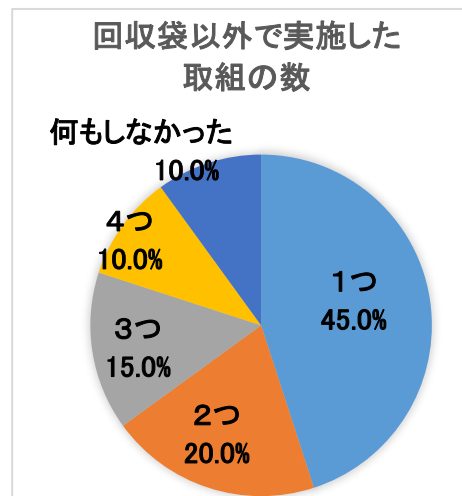


5. 「回収体験袋」を配布する以外に、「その他の古紙」回収を増やすための取組を行いましたか？（複数回答可）



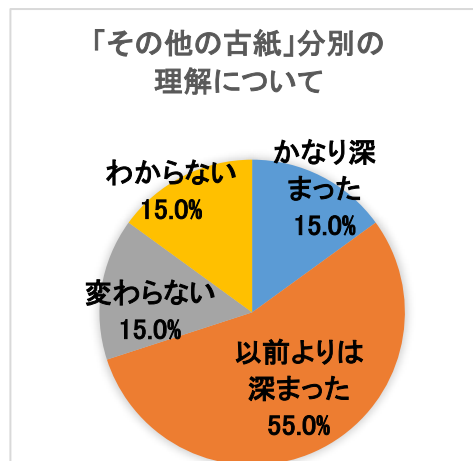
「団体にチラシ等を作成し回覧板で回覧」との回答が5割となり、続いて「団体の会議や会合で呼びかけ」が4割ありました。何もしなかったと回答した団体は1割でした。

また、何らかの取組を行っていただいた団体が計9割にのぼり、そのうち複数の取組を行っていただいた団体は45%もありました。また構成世帯へ1件ずつ声をかけていただいた団体も2団体ありました。



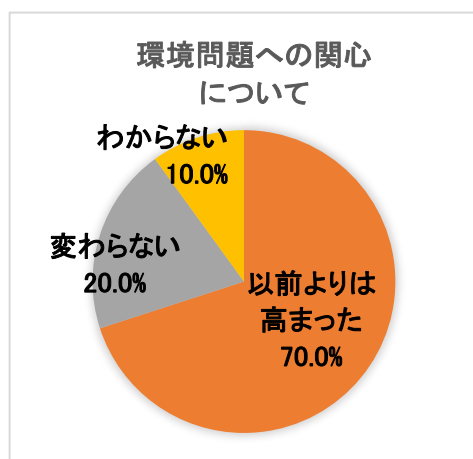
6. 貴団体では「回収体験袋」モニターに取り組むことで、「その他の古紙」分別の理解は深まりましたか？

「かなり」「以前より」深まったと答えた団体が計7割にのぼり、「変わらない」とした回答は15%でした。



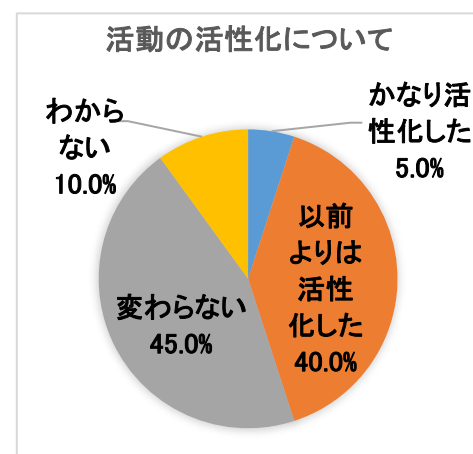
7. 貴団体では「回収体験袋」モニターに取り組むことで、環境問題についての意識は高まりましたか？

「以前よりは高まった」と答えた団体が計7割にのぼり、「変わらない」とした回答は20%でした。



8. 貴団体では「回収体験袋」モニターに取り組むことで、団体の活動が活性化しましたか？

「かなり」「以前よりは」高まったと答えた団体が計45%となり、「変わらない」とした回答と同数という結果でした。



<まとめ>

モニター事業には全区から計20団体が参加。9月中旬から順次ご協力いただき、全ての団体からアンケートの回答をいただきました。団体の種別では自治会が55%と一番多く、子供会が25%、管理組合が20%でした。

モニターに応募した理由では、「リサイクルに協力したいから」「団体の活動を活性化させたいから」が60%で、「報償金交付金額を増やしたいから」「環境問題に関心があるから」の回答は45%となりました。

「その他の古紙」の回収量の変化についてお伺いしたところ、「増えた」と「変わらなかった」の回答が同数となりました。一方、R3 年度下半期報償金交付申請データを見ると、「雑誌・その他の古紙」の前期（R3 上半期）との比較では、回収量が増えた団体は5 団体にとどまりましたが、1 年前の同時期である前々期（R2 下半期）との比較では12 団体が増加し、回収量合計も増加しています。

回収量が増えたと答えた団体に体験袋が役に立ったかをお聞きしたところ、8 割が役に立ったと答えました。

団体の構成世帯の協力の程度については、半数以上と答えた団体が計5 割となった一方、「あまり協力は得られなかった」と答えた団体も3 割ありました。

「その他の古紙」を増やすために紙袋配布以外で今回行った取組については、「団体でチラシ等を作成し回覧板で回覧」との回答が5 割と一番多く、続いて「団体の会議や会合で呼びかけ」が4 割ありました。また、何らかの取組を行っていただいた団体が計9 割にのぼり、そのうち複数の取組を行っていただいた団体は45%もありました。何もしなかった団体は1 割でした。

モニターに取り組むことによる団体の変化については、「『その他の古紙』分別の理解の深まり」と「環境問題の意識の向上」が70%、「団体の活性化」が45%という回答となり、ごみ減量の新たな理解や意識向上につながる、という結果となりました。

記述いただいた感想からは、

「ゴミに関する行政からのアプローチとして、とても良かったと思う」、「子ども会からの呼びかけだけでは力不足だったと思いますが、市からの体験袋があり、公的な力と共にできて良かったです」との好意的な意見がある一方、「協力してくれるところと関心のないところがはっきりする」、「思ったより反応がなかった。使用についての説明が足らなかったかもしれない」、「コロナ禍で、面と向かって説明ができなかったため、皆さんもどうしていいかわからなかったということもあったと思う」というご意見もありました。

取組方法は団体によりばらつきがありましたが、積極的に取り組んでいただいた団体からは、「1 月の回収量が上半期平均の2.8 倍（になった）」とのうれしい報告もいただき、体験袋を活用することで回収量の増につながることは一定示されました。

今後引き続き実施するに当たっては、回覧チラシの提供や統一的な進め方の推進等、より丁寧な説明・案内等の工夫を行っていくことが求められます。